



禁手

河寫レイ

Ray Kawashima

密林を深く分け入り朝露に濡れたまま咲く花を摘む罪

漆黒の闇に埋もれて覆い尽くす肌を這う砂生温かきかな

闇に舞う途切れ途切れの息 蝶の羽をむしられ溜息に
変わる

花蕾胸の痛みと引換えに開いてゆくは恋地獄への道

深海の底に沈みゆく身体
青の世界が闇に溶けゆく

暗闇に浮かぶあなたの曲線
天の川に似た美しさかな

雷雨来て窓を眺めることもせず
あなたの心の雷を憂う

舌尖に肌に指先唇に残る仄かな温もりの痕

残り香に唇を寄せ慰める身体の熱さ月のみぞ知る

荒れ狂う龍を閉じ込め秘すれども宝珠を求め

我が胸を裂く

Ray Kawashima

恋地獄
堕ちていくのは官能の闇

底からは白い手招き



禁手

<http://p.booklog.jp/book/77908>

著者：河嵩レイ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/rayrayray/profile>

著者ホームページ：http://blog.livedoor.jp/ray_kwsm/

Twitter：https://twitter.com/ray_kwsm

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/77908>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/77908>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ